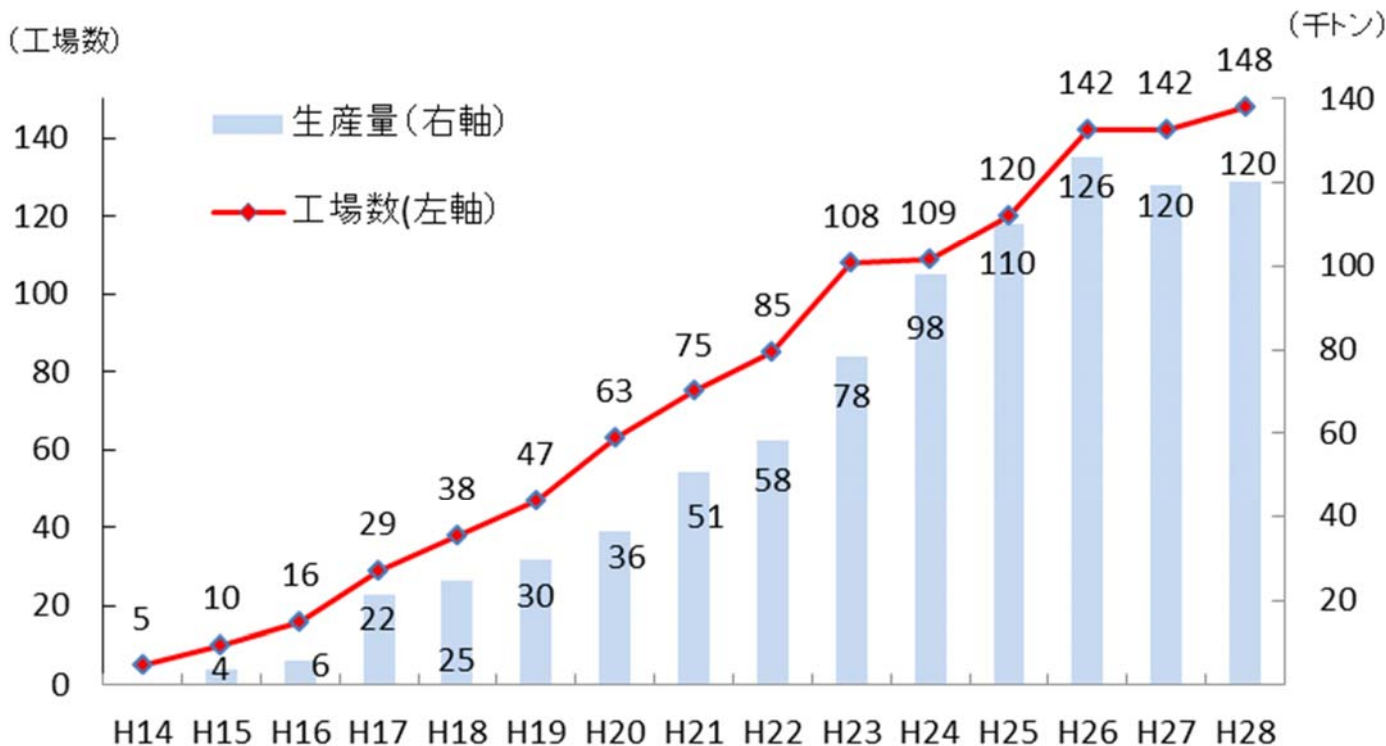


【参考資料】

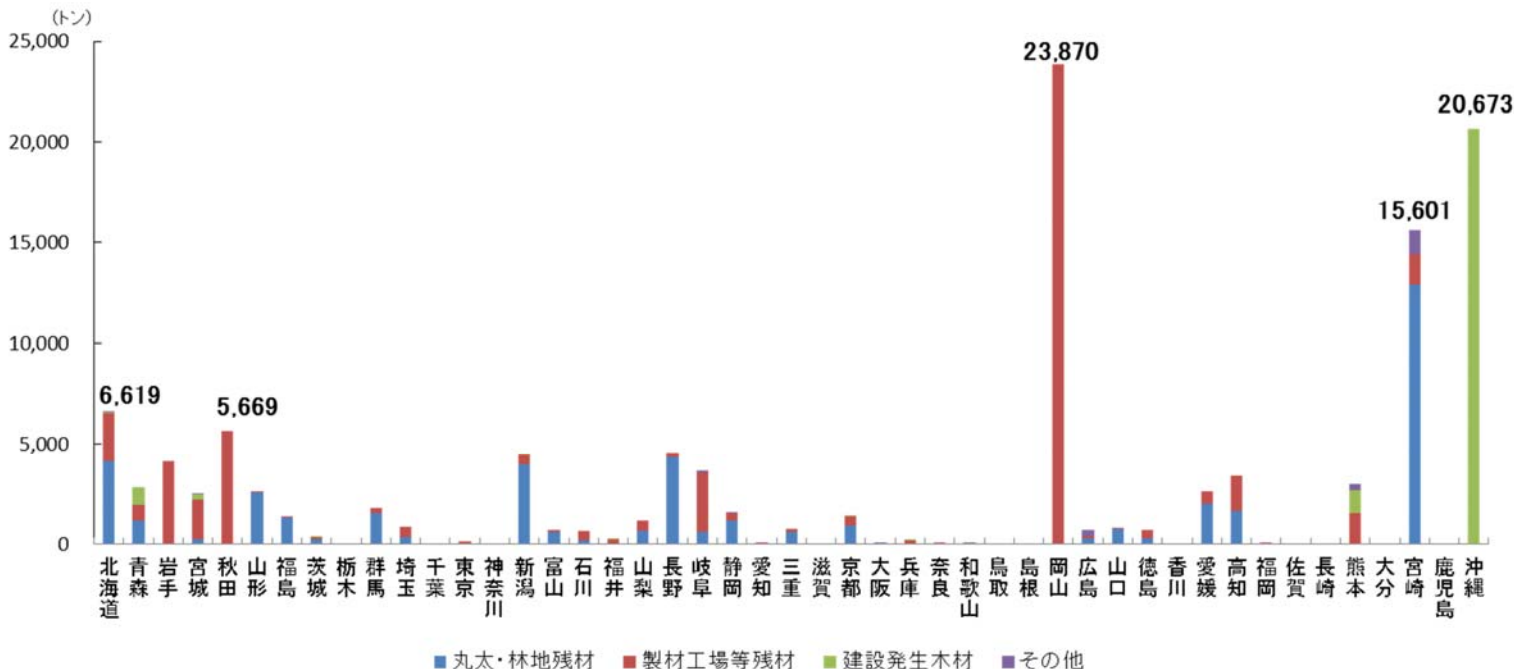
1. 木質粒状燃料(木質ペレット)生産量及び工場数の推移

- 平成28年における木質粒状燃料(木質ペレット)の生産量は、120,162トン(前年比100.5%、579トンの増)でほぼ前年並。
- 平成28年における木質粒状燃料(木質ペレット)の工場数は、148(前年比6工場の増)



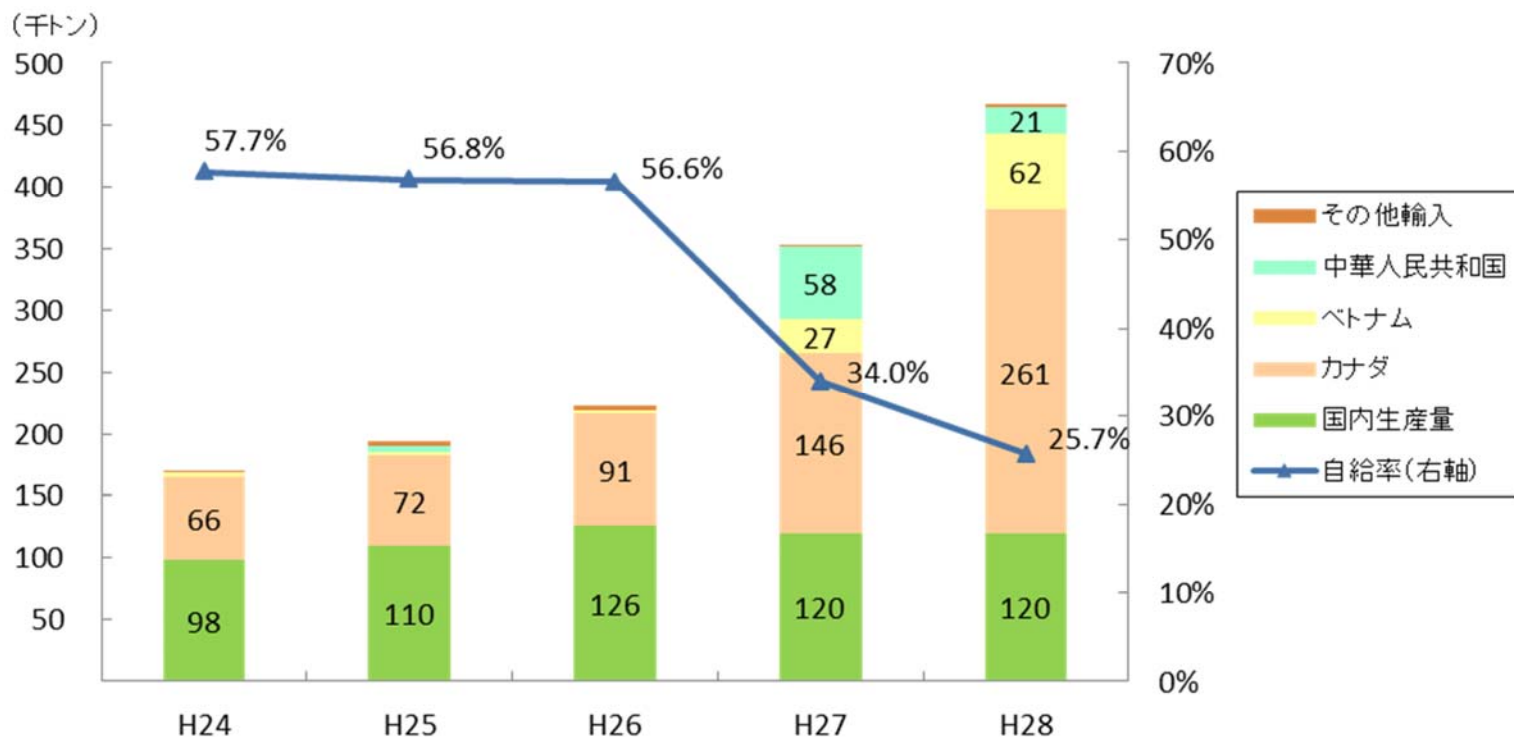
2. 都道府県別用途別生産量内訳

- 沖縄県や岡山県、長野県など17県では、生産量が計1.2万トン増加したものの、宮崎県や秋田県など23道府県では、生産量が計1.2万トン減少し、結果として前年並みの生産量。
- 生産量の上位5県は、岡山(※製材残材中心)、沖縄(※建設発生木材中心)、宮崎(※丸太・林地残材中心)、北海道、秋田(※製材残材中心)。



3. 木質ペレットの生産量・輸入量の推移

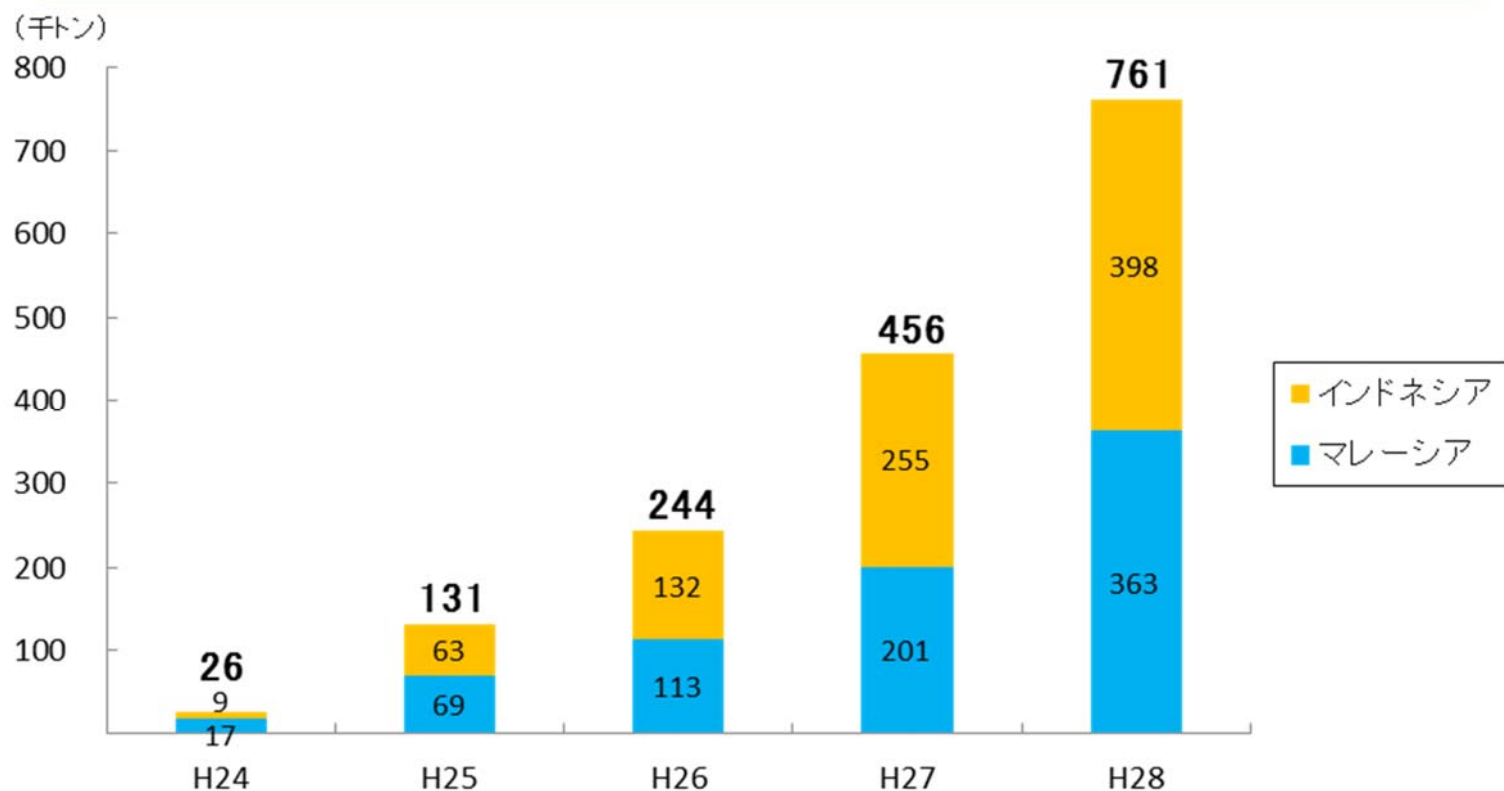
- ・平成28年における木質ペレットの輸入量は、前年比49%増の34.7万トン。
- ・木質ペレットの自給率は、前年比8.3ポイント減の25.7%へ下落。
- ・主にカナダ、ベトナムからの輸入が増加。



※輸入量は「貿易統計」における木質ペレット(関税品目コード4401.31.000)の合計。

4. PKSの輸入量の推移

- ・木質ペレットの代替燃料として競合関係にある燃料用のPKS(ヤシ殻)の輸入量は近年急増。
- ・平成28年におけるPKS輸入量は、前年比67%増の76.1万トン。
- ・主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。



※「貿易統計」におけるパーム油かす及びパーム核油かす(関税品目コード2306.60.000)の合計。